

令和6年度 第3学年 英語科シラバス (学習活動計画)

朝霞市立朝霞第三中学校

(1) 目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語 による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単 な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(2) 年間学習活動計画

学 期	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	Unit 0 Three Interesting Facts about Languages	・これまでに学んだことを使って、世界で話されている言語について書かれたレポ ートの情報を読み取ったり、行ってみたい国とそこで話されている言語について 伝え合って書いたりすることができる。
		Unit 1 Sports for Everyone	・これまでの経験について理解したり伝えたりするために、情報を整理して要点を 捉えたり伝えたりすることができる。
		Let's Write 1 有名人への手紙	・気持ちを伝えるために、表現方法を工夫しながらファンレターを書くことができ る。
	5	Unit 2 Haiku in English	・すでに終えたかどうかを知るために、宿題などの状況について概要を捉えたり、即 興で伝え合ったりすることができる。 ・相手のことを知るために、ある場所に住んでいる期間などについて相手にたず たり、相手からの質問に答えたりすることができる。
	6		・おたがいの知らない一面を知るために、自分や相手が好きなことや取り組んできた ことについて、たずね合って答えたり、伝えたりすることができる。
	7	Unit 3 Animals on the Red List	・〈It is ... (for+ (人など)) + to) などの理解をもとに、自分たちにとって大切な ことなどについて理解したり伝えたりすることができる。 ・〈want+ (人など) + to) などの理解をもとに、人にしてほしいことなどについての 対話の内容を捉えたり、だれかにしてほしいことについて伝え合ったりすることができ る。 ・〈let [help]+ (人など) + 動詞の原形) などの理解をもとに、人に何かをさせたり 、人を助けたりすることについて理解したり伝えたりすることができる。
		Stage Activity 1 My Activity Report	・これまでの経験をふり返って活動報告を発表することができる。
2 学 期	8	Let's Read 1 A Mother's Lullaby	・物語を読んで、場面の变化や登場人物の心情などを理解し、気持ちをこめて音 読することができる。
	9	Unit 4 Be Prepared and Work Together	・間接疑問文などの理解をもとに、どこにあるか、どのように行動するかなどにつ いて知っているかどうかを、理解したり伝えたりすることができる。 ・SVOO (what 節) などの理解をもとに、どこにあるか、どのように行動するかなど を教えてほしいと依頼することができる。 ・現在分詞などの理解をもとに、言葉に情報を加えて説明することができる。

	10	Unit 5 A Legacy for Peace	<ul style="list-style-type: none"> ・名詞を修飾する文(接触節)などの理解をもとに、言葉に詳しい情報を加えて説明することができる。関係代名詞 who などの理解をもとに、どのような人かを説明することができる。 ・関係代名詞 that [which] (主格・目的格)などの理解をもとに、言葉に詳しい情報を加えて説明することができる。
	11	Stage Activity 2 Discover Japan	<ul style="list-style-type: none"> ・日本や郷土の文化などを紹介する文を、詳しい情報を加えながら書くことができる。
	12	Unit 6 Beyond Borders	<ul style="list-style-type: none"> ・仮定法 (I wish I could [had]) などの理解をもとに、現実とは異なる願い事を理解したり伝えたりすることができる。 ・仮定法 (If+主語+were ..., ~.) などの理解をもとに、現実とは異なる架空の話をするすることができる。 ・仮定法 (If+主語+動詞の過去形,) と主語を説明する関係代名詞などの理解をもとに、国をこえて助け合うことの大切さについて、理解したり伝えたりすることができる。
3 学 期	1	Let's Read 3 A Graduation Gift from Steve Jobs	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチの原稿を読んで、内容の要点を理解し、自分の言葉で伝えることができる。
	2	入試対策	
	3		

(3) 使用教材

教科書 NEW HORIZON (東京書籍)

問題集 新英語のワーク3 (明治図書)、3年間の英語ぎゅぎゅっと総まとめ (明治図書)

たまトレ4回

(4) 評価方法

- ・定期テスト (100点満点の結果) 観点は「表現」「理解」「知識」
- ・単語テスト、夏(冬)休み後の文法テスト (確認テスト)、会話テスト、スピーチ、英作文などの結果
- ・ノート、ワークの取り組み状況、提出状況
- ・授業での取り組み (挙手、発言、英語での言語活動)
- ・自己評価カード

以上の評価規準に照らし、総合的に評価・評定を行います。

(5) 生徒のみなさんへアドバイス

- ・授業に集中し、挙手や発言をしたり、積極的に英語を使うようにしましょう。英語で言えることはなるべく英語で言いたいです。
- ・英語の先生や AET の先生と積極的に英語で会話をし、より多くの英語表現を学びましょう。
- ・予習、復習を必ずし、ノートやワークなどを使って学習事項の整理をし、理解を深めましょう。
英語は毎日こつこつと学習して身につける教科です。試験前だけまとめて勉強しても身につけません。
- ・英語が苦手な人はまず、単語を書いて (+発音して) 覚えることから始めましょう。そして、文章のしくみを覚え、たくさんの例文を覚えるようにするとよいでしょう。